

Space and Shade

2003.Autumn

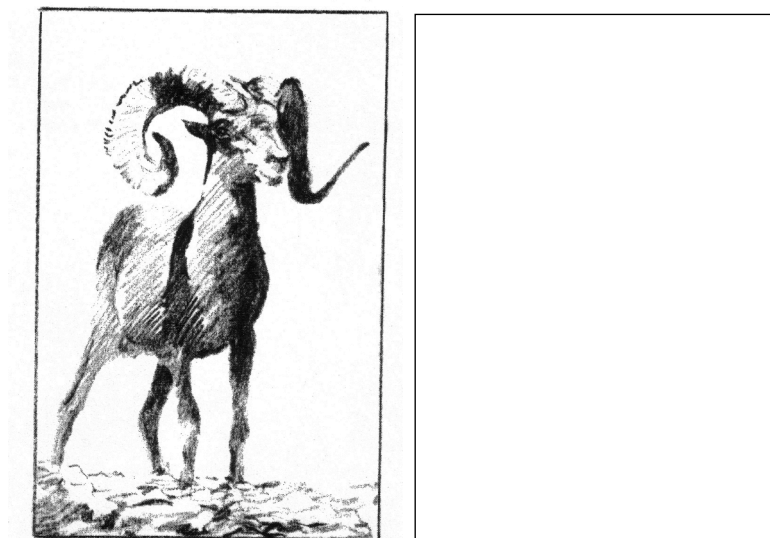
箕原辰夫

■空間の認識と描画

1. ネガ、空間の認識

四角を3つ描いてください。この枠をフォーマットと呼びます。以下の絵を次のような3つの方法で模写してみましょう。

- ・そのまま対象となる輪郭を描き写して下さい。
- ・フォーマットに囲まれた部分について、そのスペースを描いてください。
- ・ネガのスペースを1つを選び、形に見えるように認識してください。
- ・その形だけをもう1つのフォーマットに描いてください。



2. 枠の認識

紙に比較的大きな四角と、対角線を描きます。この紙は持ち運び用に切り離してください。
2つの対角線の交点の場所に、小さな四角を描きます。この四角をカッターでくり抜きます。
これ（ファインダーと呼びます）をもって、いすやディスプレイなどの物体をみてください。
2か所以上で輪郭がふれるようにファインダーを調整してください。
対象となる物体のネガのスペースを認識します。
別の紙にファインダーの四角と、ネガのスペースだけを描きます。

■曲線の描画

ハート（トランプのスイート）を描画

→曲線と比率（曲率）の感じを身につけます

対象な渦巻きを描画

→曲線のストローク感を身につけます

目を描画（眉毛まで）

■全体の把握

包絡線（ほうらく線：物体全体を包む線）を考える

ガイドとなる補助線を描く

→リズムを掴む線を描いてみます

■遠近法

1 点透視図法を描いてみる

水平線（目の高さを表わす）、垂直線（目の位置を表わす）を決める。

→構図のバランス、構図の基準点を決める。

水平線と垂直線の交わる点が、消失点になる。

立方体で描き、更に複雑な形で、描いてみる。

■陰影

★トーンを描いてみる

- ・明度の高いものから低いものに対して描き分ける
- ・明るいトーンの練習／黒／中間のトーン
- ・粗いトーン／均一なトーン／変化をつけたトーン
- ・ストロークの練習

★ハッチングの描き方

ハッチング…鉛筆の描く方向に一定の方向性にストロークを繰り返す

クロスハッチング…鉛筆の描く方向に一定の方向性を持たせて、2方向をクロスさせる

ハッチング、クロスハッチングで、グラデーションを描く

★描きの練習法

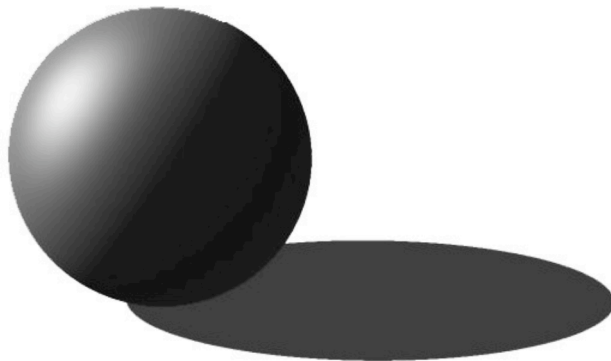
トーン、あるいはハッチング、クロスハッチングについて、それぞれ以下のことを行ないます。

10個の四角形を横に並べ、1つ1つの四角形の上に1から10までの番号を振ります。

その四角形の中に、番号の濃さで、トーンなどを描いていきます。

★基本図形のフォルム

球を描くことを行なう



まずは、輪郭線を考える。次に、陰影をハッチでつけていくが、輪郭線に頼った図形にしない。輪郭線は、陰影の境目として現れるようにする。

★球を描いてみる

ハイライト（光があたり白くなる部分）とシャドー（陰影で黒くなる部分）を描き分ける

中間部分（ハーフトーン）の描き分けを細かくしていく

光源の方向を意識する

空気遠近法…遠くのは弱く淡く、近くのは、濃くはっきりと、また近くのは、ハイライトからシャドーまでの階調の変化がきめ細くなる

空間を描く…遠くのもとの近くのを同じ密度、コントラストで描いてしまうと、空間が表現しにくくなる。

★基本フォルムと光

光源からどれくらいの角度で影がでるのか、影の遠近法を用いる。

光源の方向を見ている場合、逆の方向を見ている場合、人工照明の場合で変わってくる

★階調表現のポイント

ハイライト部分にもタッチをいれる

ハイライトと最暗部を意識する

グレー濃度に偏りがないように

ぼかしツールなどを用いて、階調を滑らかに表現させる

★デッサンのステップアップ的な完成のさせ方

1. 全体に軽くタッチを入れる
2. 背景とモチーフの関係を明暗で表す
3. 余白を意識し、全体の明暗のバランスを見て描き込む
4. 各モチーフを描き込む

★複雑なフォルムと光

フォルムが一番高い部分（凸部）はハイライト

深い凹部は、暗部になる、凹部だが光をうけるところもある、ハーフトーンになる凹部

ハンプ（暗部の端の部分）、影（キャストシャドウ）、反射光部

面の角度を示すタッチの線

■参考・引用文献

改訂新版、脳の右側で描け、B. エドワーズ、エルテ出版

初めてのイラスト教室、A. ルーミス、エルテ出版

デッサン基礎、ラファエル・エレンダー、ダヴィッド社

デッサンの55の秘訣、B. ドッドソン、エルテ出版

デッサン初級編、フォーラム11編、遊友出版

デジタルデッサン、川口吾妻監修、CG-ARTS協会

グラフィック・ノウハウブック、トム・ポーター、スウ・グッドマン、集文社

■課題

1枚の画用紙（A4用紙を横に使って下さい）に、次の3つの葉のうちどれか1枚選び、それと何かの果物と共に描きなさい。実物を良く観察しなさい。陰影をつけること。

一枚の葉の種類 （ほうれん草、小松菜、チンゲン菜のいずれか）
果物（特に指定はしない）

それぞれの野菜は、想像で描くのではなく、ちゃんと買って来て、目の前に置いて、授業で習った手法などを使って描くこと。描き終わったら、健康のため、料理して食べる。果物と葉の位置の構図は、自分で決めなさい。

これを次のようにして提出します。

1. Photoshopを起動します。
2. ファイルメニューの「読み込み」の欄で、スキャナ（Canonの場合はScanGearなど）を選びます。
3. スキャナにA4の紙を入れます。スキャンする部分を下にします。
4. 画像の取りこみ設定を以下のようにします。
カラーについては、「グレースケール（8bit）」を選びます。
解像度については、「72ppi」か「96dpi」を選びます。
5. これで「プレビュー」ボタンを押します。
6. プレビューでは、全体をスキャンするので、点滅している四角の領域の境界線をドラッグして、必要な部分だけをスキャンするように調整します。
7. うまく領域が指定できたら「スキャン」ボタンを押します。
8. これで読み込みが終わりまりましたので、スキャナ用のウィンドウは閉じて構いません。
9. 取りこんだ画像のウィンドウを前面に持ってきて下さい。横にスキャンされているので、イメージメニューの「カンパスの回転」を使って、どちらか（時計回りか反時計回り）に90°回転させます。
10. ファイルメニューの「保存」を選んで、この画像をJPEG形式の画像で保存します。
→保存するダイアログで、ポップアップメニューから「JPEG形式」を選んでください。
→保存するフォルダは、皆さんのUNIX側のフォルダの「public_html」の下のフォルダの「designworks」という名前のフォルダにします。
→ファイル名は、「dessin_氏名.jpg」とします。ちなみにフランス語です。
氏名は、名・姓の順で英語の綴りにしてください。たとえば、dessin_TakashiHattori.jpgなど。
11. 「OK」ボタンを押すと、JPEG形式の圧縮の設定などが出てきますが、最高解像度（8以上）のままにしておきます。
12. Safariを立ち上げて、次のURLを入力してみます。

http://web.sfc.keio.ac.jp/~自分のログイン名/designworks/dessin_氏名.jpg

例：

http://web.sfc.keio.ac.jp/~hattori/designworks/dessin_TakashiHattori.jpg

13. これでちゃんと表示できれば、できています。だめだったら、ファイルの形式や保存したフォルダなどが違っていますので、Photoshopに切り換えて、手順の10からやり直して下さい。Safariで見るときは「更新」ボタンを押します。

14. ちゃんと表示できたら、Photoshopを終了させます。

以上の手順で、ちゃんと表示できたら、Mailで、講師あてにメールを書きます。

宛先：minohara@sfc.keio.ac.jp

件名：designb-1

内容：

1. 先ほどのURLを記入します。
2. 授業の感想など